

1 製品及び会社情報

製品名 ; くみあい4 1被覆尿素エココート***
別名 ; エココート4 1-***
会社名 ; 全国農業協同組合連合会
担当部署 ; 肥料農薬部
住所 ; 〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル33F
電話番号 ; 03-6271-8285
FAX番号 ; 03-5218-2536
e-mail ; zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp
緊急連絡先 ; 03-6271-8285

推奨用途及び使用上の制限; 肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないでください。

2 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	可燃性固体	: 区分外
	自然発火性固体	: 区分外
健康に対する有害性	酸化性固体	: 区分外
	金属腐食性物質	: 区分外
	急性毒性 (経口)	: 区分外
	急性毒性 (経皮)	: 区分外
	急性毒性 (吸入)	: 分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	: 分類できない
	呼吸器感作性	: 分類できない
	皮膚感作性	: 区分外
	生殖細胞変異原性	: 区分外
	発がん性	: 区分外
	生殖毒性	: 分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 分類できない	
環境に対する有害性	吸引性呼吸器有害性	: 分類できない
	水生環境急性有害性	: 分類できない
	水生環境慢性有害性	: 分類できない

GHS ラベル要素

絵表示 なし
注意喚起語 なし
危険有害性情報 なし

貯蔵又は取り扱い上の注意

- 【安全対策】 粉じんを吸入しないこと。
取扱い後は手などを良く洗うこと
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- 【応急処置】 眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗うこと。
次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。
気分が悪いときは、医師の診断/手当を受けること。
- 【廃棄】 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

主成分	含有量 (%)	化学式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
尿素	8.5～9.5	CO(NH ₂) ₂	(2)-1732	57-13-6
樹脂組成物 ^{※1)}	1.0以下	—	—	—
タルク	1.0以下	3MgO·4SiO ₂ ·H ₂ O	—	14807-96-6
シリカヒューム	1以下	SiO ₂ ·nH ₂ O	(1)-548	69012-64-2
水添動植物油脂	1以下	C ₃ H ₅ [CH ₂ (CH ₂) ₅ CH ₂ OH(CH ₂) ₁₀ COO] ₃ (主成分)	(8)-358	8001-78-3

※1) ポリオレフィン系樹脂：ポリエチレン等

労働安全衛生法に基づく、名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
該当なし

化学物質排出把握管理促進法に基づく対象物質
該当なし

4 応急措置

- 吸入した場合 : 分解ガスや粉塵の場合は、新鮮な空気のある場所に移し安静にさせ、必要に応じて医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 水で洗い流す。
- 眼に入った場合 : 1. 直ちに多量の清水で洗眼する。
2. 必要に応じて医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 意識があるときには、飲んだものを吐き出させ、必要に応じて医師の診断を受ける。

5 火災時の措置

- 消火剤 : 多量の水
- 火災時の危険有害性 : 加熱されると有害ガス（窒素酸化物、アンモニアガス等）を発生する。
- 特定の消火方法 : 本製品は不燃性であるが、可燃性物質の燃焼を助勢することがあるので、保管場所を移動する。
移動が困難な時は、多量の水を注水する。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。
状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切な保護マスク等を着用し、粉塵を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。可燃性物質に着火した場合に備えて、消火機材を配備する。
- 環境に対する注意事項 : 排水溝へ流さない。
- 除去方法 : 掃き集めて回収する。

7 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 1. 必要に応じて適切な保護具を着用し、取扱い後は顔、手、口等を水洗いする。
2. 強アルカリ性資材、燃料その他の可燃性物質との直接混合は避ける。
3. 床にこぼれた粒で足元が滑り、転倒する事があるので、掃除する。
4. 容器は破損につながらないよう丁寧に扱う。
- 保管
- 適切な保管条件 : 1. 開封のまま長期間放置すると、吸湿して固結の原因となるので、開封後は密封して保管する。
2. 直射日光を避け、高温・多湿下での保管は避ける。
3. 可燃性物質との近接は避ける。
- 安全な容器包装材料 : ポリエチレン、ポリプロピレン

8 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 発塵を起こさぬ装置機械を使うか、局所排気装置を使用する。
管理濃度 : 設定なし。
許容濃度 : 日本産業衛生学会、ACGIH 共に、本品の設定はないが、粉塵対応として、下記の値を推奨する。

日本産業衛生学会勧告値（2005年）第3種粉塵

吸入性粉塵	2 mg/m ³
総粉塵	8 mg/m ³

保護具

- 呼吸器の保護具 : 防塵マスク
手の保護具 : ゴム手袋
眼の保護具 : ゴーグル型眼鏡
皮膚・身体の保護具 : 長袖作業衣

9 物理的及び化学的性質

外観

- 物理的状态 : 固体
形状 : 粒状
色 : 灰色
臭い : データなし
pH : データなし

物理的状态が変化する温度

- 分解温度 : データなし
沸点 : データなし
融点 : データなし
引火点 : データなし
発火点 : データなし

爆発範囲

- 下限 : データなし
上限 : データなし

- かさ比重 : 約0.7

溶解性

- 水 : 可溶
その他の溶媒 : エタノールに可溶
オクタノール/水分配係数 : データなし

10 安定性及び反応性

- 安定性 : 加熱すると有害ガスを発生する。
反応性 : 可燃性物質の燃焼を助勢する。
避けるべき条件 : 高温、多湿
混触危険物質 : 可燃性物質、アルカリ性物質
危険有害な分解生成物 : 窒素酸化物、アンモニアガス等

11 有害性情報

- 急性毒性（経口） : 区分外

構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。

<尿素>

ラット LD₅₀ ♂14,300mg/kg ♀15,000mg/kg

安全データシート

整理番号：JCAM-2001

改定日：2018年5月25日

		マウス LD ₅₀ ♂11,500mg/kg ♀13,000mg/kg 以上のデータに基づき、区分外とした。 上記構成成分が区分外であることから区分外とした。
急性毒性（経皮）	：	区分外 構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。 <尿素> ラット LD ₅₀ 8,200mg/kg 以上のデータに基づき、区分外とした。 上記構成成分が区分外であることから区分外とした。
急性毒性（吸入）	：	データ不足のため分類できない
皮膚腐食性/刺激性	：	分類できない 構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。 <尿素> ヒトの試験では 7.5%で Slight irritation、30%で moderate との報告がある(48 時間)。 ICSC では皮膚に対し発赤と記載されている。 ウサギの試験では刺激性は認められていない。 上記の有害性情報があるが、JISZ7252:2014 の表 B.4 の判定基準（皮膚刺激性の区分）を満たす証拠がなかったため、分類できないとした。
眼に対する重篤な損傷 /眼刺激性	：	分類できない 構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。 <尿素> ICSC では眼に対し発赤と記載されている。 ウサギの試験では刺激性は認められていない。 上記の有害性情報があるが、JISZ7252:2014 の表 B.8 の判定基準（可逆的な眼への影響に関する区分）を満たす証拠がなかったため、分類できないとした。
呼吸器感作性	：	データ不足のため分類できない
皮膚感作性	：	区分外 構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。 <尿素> 感作性なし 以上のデータに基づき、区分外とした。 上記構成成分が区分外であることから区分外とした。
生殖細胞変異原性	：	区分外 構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。 <尿素> エームス試験 陰性 染色体異常試験 代謝活性化なしの場合に陰性との報告がある。 以上のデータに基づき、区分外とした。 上記構成成分が区分外であることから区分外とした。
発がん性	：	区分外 構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。 <尿素> マウス(0.45-4.5g/kg,12 ヶ月)および、ラット(4.5-45g/kg,12 ヶ月)の試験では発がん性は認められていない。 以上のデータに基づき、区分外とした。 上記構成成分が区分外であることから区分外とした。
生殖毒性	：	データ不足のため分類できない
特定標的臓器毒性	：	データ不足のため分類できない

(単回ばく露)	<p>分類できない 構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。 <尿素> データ不足のため分類できない <シリカヒューム> 本物質は気道刺激性があるとの報告 (ACGIH (7th, 2001)、ECETOC JACC (2006)) から、区分 3 (気道刺激性) とした。 上記構成成分が区分 3 であり、成分濃度が 1%未満であることから区分外とした。 上記構成成分より分類できないとした。</p>
<p>特定標的臓器毒性 (反復ばく露)</p>	<p>: 分類できない 構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。 <尿素> データ不足のため分類できない <シリカヒューム> ヒトにおいて、慢性あるいは反復の吸入ばく露により珪肺症と同様なレントゲン所見を伴った金属ヒューム熱のような回帰性熱を起こす。しかし、肺の変化は自然に回復することが報告されている (ACGIH (7th, 2001))。 実験動物において、ラット、モルモット、サルに 15 mg/m³ (0.015 mg/L) を 12~18 ヶ月間吸入ばく露した試験で、いずれの動物種においても肺の単核細胞の集合体の増加、細網線維がみられ、さらにサルでは膠原線維がみられている (DFGOT vol. 2 (1991))。以上のようにヒトにおいて呼吸器への影響がみられ、また、実験動物、特にサルにおいて区分 1 の範囲で肺に膠原線維がみられている。 したがって、区分 1 (呼吸器) とした。 構成成分が区分 1 (呼吸器) であり、成分濃度が 1%未満であることから区分外とした。 上記構成成分より分類できないとした。</p>
<p>吸引性呼吸器有害性</p>	<p>: データ不足のため分類できない</p>
<p>環境に対する有害性</p>	<p>水生環境急性有害性 : データ不足のため分類できない 水生環境慢性有害性 : データ不足のため分類できない</p>

1 2 環境影響情報

構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。

この製品は HME に該当する。

<尿素>

閉鎖性水域では水質の富栄養化をもたらすので、排水については「水質汚濁防止法」の排水基準を守ること。

1 3 廃棄上の注意

1. 下水、河川等に直接流さない。
2. 「廃掃法」にしたがって処理する。
3. 燃やさない (不燃物であるが加熱すると有害ガスを発生する)。

1.4 輸送上の注意

国際規制

国連番号	:	該当なし
品名	:	該当なし
国連分類	:	該当なし
容器等級	:	該当なし
IMDG（国際海上危険物規則）	:	該当なし
ICAO-TI(国際民間航空機関技術指針)	:	該当なし
／IATA-DGR（国際航空運送協会危険物規則）	:	

国内規制 : 下記の法令に従い、規定の積載方法、容器等によって輸送する。
危険物船舶運送及び貯蔵規則、航空法、湾則法

輸送の特定の安全対策及び条件 : 1. 雨水等による水濡れ防止を行う。
2. 破袋、荷崩れ等を起こさぬよう適切な対策をとる。

1.5 適用法令

肥料取締法	:	登録肥料
消防法	:	該当しない（法第2条別表／危政令第1条の試験結果より非危険物に該当）
労働安全衛生法	:	粉じん則 粉じんが発生する屋内作業場は粉じん則が適用される。 粉じんを多量に吸入した場合、肺障害等の健康障害のおそれがあるため、作業環境測定を行うとともに、その結果に基づいたリスクアセスメントを行うこと。
危険物船舶運送及び貯蔵規則	:	該当しない
航空法	:	該当しない
湾則法	:	該当しない
化学物質排出把握管理促進法	:	該当しない

1.6 その他の情報

- 1) 本安全データシート(SDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。
- 2) 本文中の注意事項は通常の取り扱いを想定しておりますので、製品使用者が特殊な取り扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。
- 3) 当社は SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。
- 4) 本 SDS の危険有害性は、以下の情報・基準を元に作成しました。
 - ・厚生労働省「職場のあんぜんサイト」の GHS 対応モデル SDS
 - ・当社原料メーカーから入手した原料 SDS
 - ・JISZ7252：2014「GHS に基づく化学品の分類方法」
 - ・「危険物船舶運送及び貯蔵規則」

本製品については、下記にお問い合わせください。

安全データシート

整理番号：JCAM-2001
改定日：2018年5月25日

会社名 ; ジェイカムアグリ株式会社
連絡先 ; 生産管理本部
住所 ; 東京都千代田区神田須田町 2-6-6 ニッセイ神田須田町ビル
電話番号 ; 03-5297-8904
F A X 番号 ; 03-5297-8908
緊急連絡先 ; 富士工場
電話番号 ; 0545-62-2401 (夜間) 0545-62-2411